

第3回 堺市公共事業評価監視委員会

審議対象事業説明資料

目次

1. 事後評価審議対象事業一覧表（2事業）	1
2. 歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造【事後評価】	
事後評価個票	3
事後評価シート	6
社会資本総合整備計画	9
都市再生整備計画	13
説明資料	19
3. 都市再生整備計画事業 堺東駅周辺地区【事後評価】	
事後評価個票	23
事業箇所図	26
事業の状況	27
事業スケジュール	28
事後評価シート	29
都市再生整備計画	32
説明資料	38

事後評価審議対象事業一覧表（2事業）

(1/2)

事業種別	事業名	事業内容及び事業コスト	市民のニーズ	事業効果の発現状況		今後のまちづくりの方策	市の評価	評価
				定量的評価	定性的評価			
市街地・住宅	歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造	<p>○事業内容 (1)堺環濠都市地区（都市再生整備計画事業） ・観光交流センター等の整備</p> <p>(2)堺環濠都市北部地区街なみ環境整備事業 ・整備方針・事業計画策定・修景施設整備事業</p> <p>○事業コスト (1)堺環濠都市地区（都市再生整備計画事業）：2579.35百万円 (2)堺環濠都市北部地区街なみ環境整備事業：22.52百万円</p>	<p>○観光政策の重要性が増す中、本市の有する歴史的文化的資産を活用した観光振興・文化振興を進めることが求められていた。</p> <p>○環濠都市北部地区においては国の重要文化財である山口家住宅（町家歴史館）をはじめ、貴重な歴史的建造物が多数存在し、街なみの整備が求められていた。</p>	<p>○1年間における堺観光周遊バス助成制度の対象件数 【最終実績値／最終目標値】 219件/400件</p> <p>・平成28年度に関しては助成制度の実施手法を変更したため、最終実績値に至らなかったが、平成25年度～平成27年度まで最終目標値400件を上回る実績であり、計画期間全体では421件の実績値となった。</p> <p>○1年間における堺おもてなしチケットの販売枚数 【最終実績値／最終目標値】 9,808枚/5,500枚</p> <p>・さかい利晶の杜のオープンに併せて平成27年3月に堺おもてなしチケットのリニューアルを行った。その効果もあり平成27年度から大幅に販売枚数が増加している。</p> <p>○町家歴史館年間来場者数／堺市マスタープラン目標年間来場者数：20,000人 【最終実績値／最終目標値】 99%/110%</p> <p>・平成28年度に関しては、堺観光周遊バス助成制度の実施件数減の影響もあり目標達成に至らなかったが、平成25年度～平成27年度は目標値を上回る実績であり、計画期間全体では116%の実績値となった。</p> <p>◆さかい利晶の杜の来館者数 ・平成26年度：33,533人 ・平成27年度：457,022人 ・平成28年度：331,938人 ※平成27年3月20日オープン</p>	<p>・平成27年3月にオープンした文化観光拠点施設「さかい利晶の杜」には、平成27年度来館者数457,022人（うち有料来館者数142,306人）、平成28年度来館者数331,938人（うち有料来館者数92,914人）の来館があり、本市の有する歴史・文化の魅力の発信や交流人口の拡大を通じたまちの賑わいの創出に寄与している。</p> <p>・堺のことをよく知る市民により組織されている「堺観光ボランティア協会」による観光ガイドを行っており、来訪者に対して市の歴史・文化を市民が発信する体制が整っている。</p> <p>・さかい利晶の杜のアンケートでは、来館者の37%が堺市内からの来訪者であり、千利休茶の湯館や与謝野晶子記念館の展示や茶の湯体験などを通じて市民が改めて本市の特色ある歴史・文化に触れる機会を創出することでシビック・プライドの醸成に寄与している。</p> <p>・本計画の実施により無電柱化や周辺道路の整備、地区内の主要道路である大道筋の緑化、まち歩き観光のスポット・休憩所となる公園の再整備、近隣商店街のファサード整備、北部地区における歴史的なまちなみの修景により景観向上と都市魅力の向上に寄与している。</p>	<p>・本計画において整備された文化観光拠点「さかい利晶の杜」において、常設展示だけではなく様々な企画展や魅力あるイベントを実施することで、千利休・茶の湯文化や与謝野晶子・文学をはじめとした本市がもつ特色ある歴史・文化の魅力を市内外に広く発信していくことで、賑わいの創出、都市魅力の向上、シビック・プライドの醸成を図っていく。</p> <p>・北部地区における歴史的なまちなみの再生など地区内の資源の魅力の向上やネットワーク化を図り、まちの周遊を楽しめる環境整備を図っていく。</p>	<p>[今後の事後評価] 不要</p> <p>[改善措置] 不要</p> <p>[評価] 定量的評価として、本市を周遊観光するバスツアー件数の増加、おもてなしチケットの販売枚数の増加、町家歴史館の来場者数の増加により、交流人口の増加と周遊観光の促進という計画の目的に沿った効果が生じており、計画の目標は達成できていると考えている。 また、定性的評価として、市内外へ本市の歴史・文化の魅力の発信やシビック・プライドの醸成に寄与できていると考えている。 今後も「さかい利晶の杜」を市外からの来訪者・市民に親しまれる施設として運営するとともに、地区内の資源の魅力向上やネットワーク化を図ることでまちの周遊を楽しめる環境整備を図っていく。</p>	<p>[今後の事後評価] 要・不要</p> <p>[改善措置] 要・不要</p>

事後評価審議対象事業一覧表 (2事業)

(2/2)

事業種別	事業名	事業内容及び事業コスト	事業効果の発現状況		今後のまちづくり方策	住民の意見	市の評価	評価
			目標を定量化する指標	定性的評価				
都市再生整備計画事業	都市再生整備計画事業 塚東駅周辺地区	<p><事業内容> 地区面積：34ha 整備内容： ・基幹事業 （市民交流広場整備事業） ・提案事業 （市民交流広場活用事業）</p>	<p>○塚東駅周辺の歩行者通行量 （人/休日8時間） 【従前値】 1485 【目標値】 2200 【評価値】 1916（10/8(日)計測） 【効果発現要因】 市民交流広場の完成により通行量が一定増加した。広場内のイベント実施等によりにぎわいが生まれ交流人口が増加した。</p>	<p>・市民交流広場条例を策定し、広く自由に広場を使用できるようにしたことにより、定期的に各団体によるイベントが開催されるようになった。 ・市民交流広場活用事業による試験的なイベント実施、有識者や市民委員を交えた検討会の実施により、利用しやすい広場の整備が進んだ。</p>	<p>・引き続き、各団体が自立的に活動できるような支援を行う。 ・未整備部分については、引き続き地元協議・整備検討を続ける。</p>	<p>・平成29年12月7日（木）から平成29年12月21日（木）まで、市のホームページ及び担当課で事後評価原案を公表し、意見募集を行ったが住民からの意見はなかった。</p>	<p>[今後の事後評価] 不要</p>	<p>[今後の事後評価] 要・不要</p>
		<p><事業費> 【計画時の想定】 事業費総額 764百万円 【見込み】 事業費総額 782百万円 【採択年度】平成26年度 【事業期間】4年（H26～H29）</p>	<p>○市民交流広場の使用率 （%） 【従前値】 28 【目標値】 44 【評価値】 66 【効果発現要因】 市民交流広場の合同庁舎前の完成、市役所前の完成により広くイベントが開催され利用が促進されたことにより、市民交流広場の使用率が上昇した。</p>			<p>[改善措置] 不要</p>	<p>[改善措置] 要・不要</p>	
						<p>[評価] 事後評価手続きは妥当であると考えている。指標の目標値は他の事業の遅れを除くと一定達成していることから、本地区の目標であるまちの活性化に寄与したものであると考えている。今後のまちづくりの方策についても妥当であると考えている。 ※なお、塚東駅周辺の歩行者交通量については、関連事業である塚東駅南地区市街地再開発事業やフェニーチェ堺の工事が完了する平成33年度にフォローアップを行う予定である。 （※意見具申を受けて追記）</p>		

事後評価個票（その1）

事業名		歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造	
事業箇所		堺環濠都市地区 245ha	
事後評価理由		平成 28 年度の計画期間終了に伴い事業効果を評価するため。	
事業概要	目的	堺環濠都市地区の豊かな歴史・文化資源を活用したまちづくりを推進し、都市魅力を向上させるとともに、交流人口の拡大を通じて、まちの賑わい創出と都市活力の向上を図る。	
	内容	<p>○堺環濠都市地区（都市再生整備計画事業）による観光交流センター等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光交流センター（堺市立歴史文化にぎわいプラザ〈愛称：さかい利晶の杜〉） 延床 3,500 m²の整備 ・駐車場整備工事 4,500 m² ・電線共同溝整備工事 L=270m ・周辺道路整備工事 L=470m ・ザビエル公園再整備事業 12,000 m² ・宿院町公園再整備事業 2,000 m² ・大道筋緑化事業 2,800 m² ・堺版元気な商店街創出事業 300m <p>○堺環濠都市北部地区街なみ環境整備事業によるまちなみ景観整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備方針策定 ・事業計画策定 ・協議会活動助成、修景助成 	
	上位計画	<ul style="list-style-type: none"> ・堺市マスタープラン「さかい未来・夢コンパス」（平成 23 年 3 月策定） ・堺市文化観光再生戦略プラン ・堺市歴史的風致維持向上計画 ・堺市景観計画 	
	関連事業		
	項目	計画時の想定	実績
事業コスト	事業コスト	2,692 百万円	2,602 百万円
	時間コスト	計画期間 5 年（平成 24 年度～平成 28 年度）	計画期間 5 年（平成 24 年度～平成 28 年度）

事後評価個票（その2）

事業を巡る社会経済情勢の変化	事業目的に関する諸状況	本市は、世界文化遺産登録をめざしている仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群のほか、千利休によって大成された「茶の湯文化」、刃物や線香などの伝統産業の他、長い歴史の中で保存・継承されてきた誇るべき歴史文化資源を数多く有している。しかしながら、これまでこうした歴史文化を市内外の人々にわかりやすく紹介するための施設や、これら資源を巡るためのネットワークなどの面で課題を有しており、本市の歴史文化の魅力を十分に伝えることができていなかった。	
	地域の状況	本市は、世界文化遺産登録をめざしている仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群のほか、長い歴史の中で保存・継承されてきた誇るべき歴史文化資源を数多く有している。とりわけ、本計画区域には由緒ある神社仏閣や歴史的なまちなみ、千利休や与謝野晶子などの先人の足跡や地域に根付いた市民文化など、今もなお豊かな歴史文化が息づいている。	
	市民のニーズ	観光政策の重要性が増す中、本市の有する歴史的文化的資産を活用した観光振興・文化振興を進めることが求められていた。 堺環濠都市北部地区においては国の重要文化財である山口家住宅（町家歴史館）をはじめ、貴重な歴史的建造物が多数存在し、まちなみの整備が求められていた。	
事業効果の定量的評価	費用便益分析	計画時の想定	実績
		本市で実施しているビジター実態調査から得られた市内外分担率や宿泊分担率等のデータと、本計画の中心事業である文化観光拠点整備事業（さかい利晶の杜）の年間想定来訪者数のデータを産業連関表にあてはめて経済波及効果を算定した結果、地域への生産誘発額は年間約6億円、これらによる地元企業の利潤や雇用者所得額は年間約3億円と算定。	
	その他の指標	1年間における堺観光周遊バス助成制度の対象件数：400件（H28年度）	1年間における堺観光周遊バス助成制度の対象件数：219件（H28年度） ・平成28年度に関しては助成制度の実施手法を変更したため、最終実績値に至らなかったが、平成25年度～平成27年度まで最終目標値400件を上回る実績であり、計画期間全体では421件の実績値である。
1年間における堺おもてなしチケットの販売枚数：5,500枚（H28年度）		1年間におけるおもてなしチケットの販売枚数：9,808枚（H28年度） さかい利晶の杜のオープンに併せて平成27年3月に堺おもてなしチケットのリニューアルを行った。その効果もあり平成27年度から大幅に販売枚数が増加している。	
町家歴史館年間来場者数／堺市マスタープラン目標年間来場者数：20,000人：110%（H28年度）		町家歴史館年間来場者数／堺市マスタープラン目標年間来場者数：20,000人：99%（H28年度） 平成28年度に関して、堺観光周遊バス助成制度の実施件数減の影響もあり目標達成に至らなかったが、平成25年度～平成27年度は目標値を上回る実績であり、計画期間全体では116%の実績値となった。	

事後評価個票（その3）

<p>事業効果の 定性的評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年 3 月にオープンした文化観光拠点施設「さかい利晶の杜」には、平成 27 年度来館者数 457,022 人（うち有料来館者数 142,306 人）、平成 28 年度来館者数 331,938 人（うち有料来館者数 92,914 人）の来館があり、本市の有する歴史・文化の魅力を発信や交流人口の拡大を通じたまちの賑わいの創出に寄与している。 ・さかい利晶の杜のアンケートでは、来館者の 37%が堺市内からの来訪者であり、千利休茶の湯館や与謝野晶子記念館の展示や茶の湯体験などを通じて市民が改めて本市の特色ある歴史・文化に触れる機会を創出することでシビック・プライドの醸成に寄与している。 ・堺のことをよく知る市民により組織されている「堺観光ボランティア協会」による観光ガイドを行っており、来訪者に対して市の歴史・文化を市民が発信する体制が整っている。 ・本計画の実施により無電柱化や周辺道路の整備、地区内の主要道路である大道筋の緑化、まち歩き観光のスポット・休憩所となる公園の再整備、近隣商店街のファサード整備、北部地区における歴史的なまちなみの修景により景観向上と都市魅力の向上に寄与している。
<p>今後のまちづくりの方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画において整備された文化観光拠点「さかい利晶の杜」において、常設展示だけではなく様々な企画展や魅力あるイベントを実施することで、千利休・茶の湯文化や与謝野晶子・文学をはじめとした本市がもつ特色ある歴史・文化の魅力を市内外に広く発信していくことで、賑わいの創出、都市魅力の向上、シビック・プライドの醸成を図っていく。 ・北部地区における歴史的なまちなみの再生など地区内の資源の魅力の向上やネットワーク化を図り、まちの周遊を楽しめる環境整備を図っていく。
<p>市の評価</p>	<p>定量的評価として、本市を周遊観光するバスツアー件数の増加、おもてなしチケットの販売枚数の増加、町家歴史館の来場者数の増加により、交流人口の増加と周遊観光の促進という計画の目的に沿った効果が生じており、計画の目標は達成できていると考えている。</p> <p>また、定性的評価として、市内外へ本市の歴史・文化の魅力を発信やシビック・プライドの醸成に寄与できていると考えている。</p> <p>今後も「さかい利晶の杜」を市外からの来訪者・市民に親しまれる施設として運営するとともに、地区内の資源の魅力向上やネットワーク化を図ることでまちの周遊を楽しめる環境整備を図っていく。</p>

社会資本総合整備計画
「歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造」
【平成24～28年度】
事後評価シート

- ・堺環濠都市地区都市再生整備計画事業
- ・堺環濠都市北部地区街なみ環境整備事業

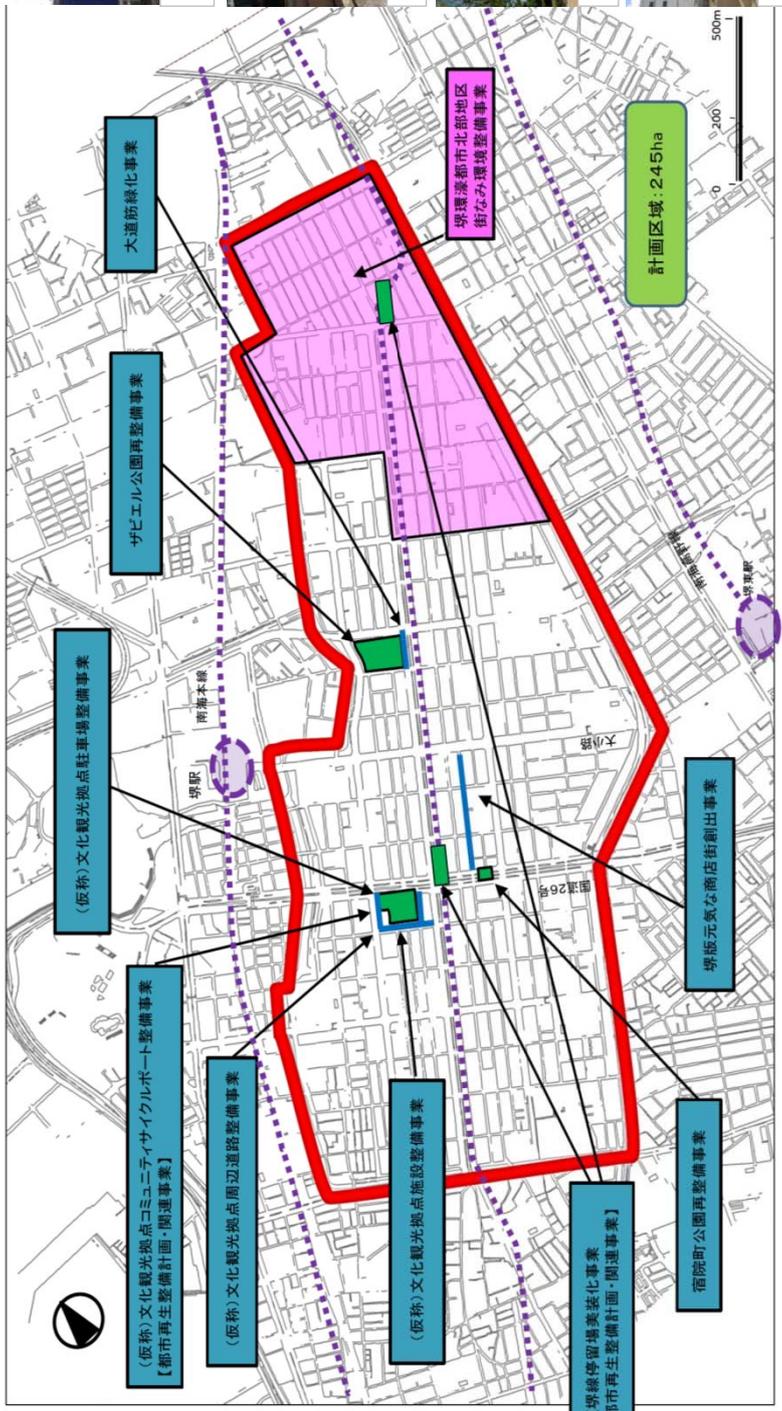
平成29年12月

大阪府堺市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	堺市	地区名	歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造	面積	245ha							
交付期間	平成24～28年度	事業計画実施時期	平成29年度	交付対象事業費	2,602百万円	国費率	0.3							
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	都市再生整備計画事業	地域生活基幹施設(仮称)文化観光拠点施設(電線単管溝・溝路) 都市基幹施設(仮称)文化観光拠点施設(観光交流センター)、地域創造支援事業(仮称)文化観光拠点施設整備事業、近郊公園再整備事業、防犯灯設置事業、大道路化事業、歩道拡充型商店街創出事業	事業名									
		関連社会資本整備事業	街なみ環境整備事業	街なみ環境整備事業										
		効果促進事業	効果促進事業											
		当初計画から削除した事業	基幹事業	都市再生整備計画事業	地域生活基幹施設(仮称)文化観光拠点施設(電線単管溝・溝路) 都市基幹施設(仮称)文化観光拠点施設(観光交流センター)、地域創造支援事業(仮称)文化観光拠点施設整備事業、近郊公園再整備事業、防犯灯設置事業、大道路化事業、歩道拡充型商店街創出事業	削除追加の理由	なし							
		新たに追加した事業	関連社会資本整備事業	効果促進事業										
		効果促進事業	効果促進事業											
		交付期間の変更	当初変更なし	平成24～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更	変更なし											
		指標	単位	従前年度	基準年度	目標年度	実績年度	モニタリング	数値	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		指標1	年間における歩道幅狭小解消率	件	312	H23	400	H28	219	x	あり	平成28年度に限りは歩道幅狭小解消率の改善を目標として、最終年度に達できなかったが、平成25年度～平成27年度は最終目標値400件を上回る実績であり、計画期間全体では421件の実績となった。	—	
指標2	年間における歩道幅狭小解消率	枚	5,211	H23	5,500	H28	9,808	o	あり	さかい利島の社のオープンに伴って平成27年9月に開始された「まちづくり」の取り組みを行った。その効果もあり平成27年度から大幅に販売枚数が増加している。	—			
指標3	町民参加型まちづくり推進率	%	105	H24	110	H28	99	x	あり	平成28年度に限りは、町民参加型まちづくり推進率(指標①)の改善を目標として、最終年度に達できなかったが、平成25年度～平成27年度は目標値を上回る実績であり、計画期間全体では118%の実績となった。	—			
3) その他の数値指標(当初計画に位置づけ、実施した事業)による効果発現状況	指標	単位	従前年度	基準年度	目標年度	実績年度	モニタリング	数値	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	さかい利島の社年間来訪者数	人	—	—	—	—	331,938				前期までの取組により、平成28年度は目標値を上回る実績となった。	—	
	その他の数値指標2	その他の数値指標												
	その他の数値指標3	その他の数値指標												
4) 定性的な効果発現状況	実施内容	実施状況	目標達成度	目標達成度	目標達成度	目標達成度	モニタリング	数値	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	モニタリング	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	前期までの取組により、平成28年度は目標値を上回る実績となった。	—	
5) 実施過程の評価	住民参加プロセス	さかい利島の社では、界のことをよく知る市民により組織されている「堺観光ボランティア協会」による観光ガイドを導入している。	o											
	持続的なまちづくり体制の構築	さかい利島の社の重宝に立地し、与野野子とのゆかりの深い商店街である「堺山之口商店街」を連携し、観光力向上の取組を進めている。	o											

様式2-2 地区の概要

歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造(大阪府堺市) 社会資本総合整備計画の成果概要									
計画の目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
<p>堺環濠都市地区の豊かな歴史・文化資源を活用したまちづくりを推進し、都市魅力を向上させるとともに、交流人口の拡大を通じて、まちの賑わい・創出と都市活力の向上を図る。</p>		1年間における堺観光周遊/バス助成制度の対象件数	単位: 件	312	H23	400	H28	219	H28
		1年間における堺おもてなしチケットの販売枚数	単位: 枚	5,211	H23	5,500	H28	9,808	H28
		町家歴史館年間来場者数/堺市マスタープラン目標年間来場者数: 20,000人	単位: %	105	H24	110	H28	99	H28
 <p>(仮称)文化観光拠点施設整備事業・(仮称)文化観光拠点駐車場整備事業</p>  <p>(仮称)文化観光拠点周辺道路整備事業</p>  <p>堺版元気な商店街創出事業</p>		 <p>計画区域: 245ha</p>							
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 本市の特色ある歴史・文化資源などを分かりやすく紹介し観光周遊の基となる施設の整備が課題となっていたが、「さかい利晶の杜」の整備により、千利休・与謝野晶子という堺を代表する偉人を通じて歴史・文化の魅力発信するとともに観光案内機能やコミュニティサイクルポートも備えた文化観光拠点が形成された。 地区内の景観向上や楽しく周遊するための観光ネットワークの構築とともに、まち歩き観光や自転車による観光を促進するための休憩所などの整備が課題となっていたが、本計画の実施によりそれらが整備され、今後の周遊促進のための環境整備ができた。 								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 本計画において整備された文化観光拠点「さかい利晶の杜」において、常設展示だけでなく様々な企画展や魅力あるイベントを実施することで、千利休・茶の湯文化や与謝野晶子・文学をはじめとした本市がもつ特色ある歴史・文化の魅力を市内外に広く発信していくことで、賑わいの創出、都市魅力の向上、シビック・プライドの醸成を図っていく。 北部地区における歴史的な街なみの再生など地区内の資源の魅力の向上やネットワーク化を図り、まちの周遊を楽しめる環境整備を図っていく。 								

社会資本総合整備計画

歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造(第3回変更)

平成 27 年 3 月

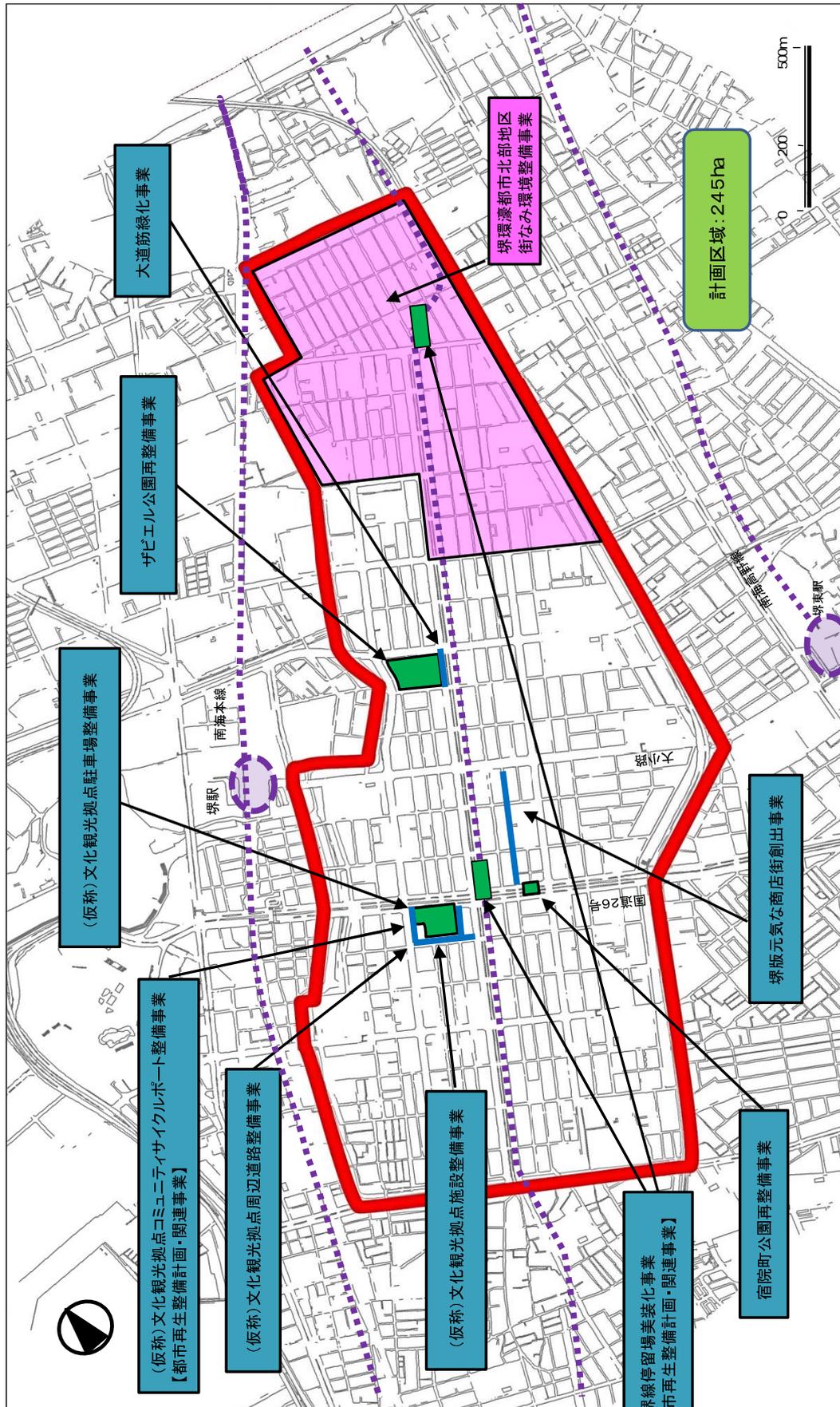
大阪府堺市

(参考図面)

社会資本総合整備計画

平成27年3月30日

計画の名称	歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）
交付対象	大阪府 堺市



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 歴史・文化資源を活用した都市魅力の創造 事業主体名: 堺市

チェック欄	
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

都市再生整備計画(第1回変更)

さかいかんごうとしちく
堺環濠都市地区

おおさかふ さかい
大阪府 堺市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	堺市	地区名	堺環濠都市地区	面積	245 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標
 大目標：堺環濠都市地区に存在する歴史文化資源を活用して、まちの賑わい創出と都市活力の向上を図る。
 目標1：堺の特色ある歴史文化の発信や景観形成により、都市魅力を向上させる。
 目標2：歴史文化資源を繋ぐ観光ネットワークの構築により、「まち歩き観光」を促進し、地区の活性化を図る。
 目標3：堺観光の基点となる(仮称)文化観光拠点施設の整備により、観光誘客を促進し、交流人口の拡大を図る。

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現状

○堺市は、世界遺産登録に向けた取り組みを進めている仁徳天皇陵古墳に代表される百舌鳥古墳群、千利休による徳天皇陵古墳に代表される「茶の湯文化」、刃物や綿着などの伝統産業の他、豊かな歴史文化資源に恵まれており、観光振興の中心となるテーマを「歴史文化」と設定し、観光誘客に取り組んできた。

○堺環濠都市地区は、幾度も戦乱や震災などで大きな打撃を受け、その都度復興してきた。太平洋戦争の空襲によって多くの文化財やまちなみが失われたが、一部については、長い歴史の中で保存・継承され、「国際交易都市」、「自由都市」、「進取の気風」などの堺らしさを感じることができている貴重な地区である。

○具体的に、「南宗寺」をはじめとする由緒ある寺社仏閣、千利休屋敷跡や与謝野晶子生家跡などの先人ゆかりの地が存在し、歴史的なまちなみや伝統産業が息づいている。また、江戸前期の町家として国の重要文化財に指定されている「山口家住宅」や「鉄砲鍛冶屋敷」、修験道の歴史を持つ「清学院」などの歴史建造物もあり、とりわけ数多くの歴史文化資源が集積している。

○こうした立地条件から、堺環濠都市地区にあたる旧市街地を堺観光の「二大戦略拠点」の一つとして位置付けて、重点的に観光誘客を促進するとともに、地区内を南北に貫く公共交通機関であり、大阪府で唯一の路面電車である阪堺線の運行継続に向けた支援や利用者拡大策を行い、阪堺線の再生・活性化を図るなど、魅力あるまちづくりを展開してきた。

○現在、堺環濠都市地区は、堺市全体の発展の中心的な役割を果たす都心地域にも該当しており、商業・業務・行政・文化・居住などの複合的な都市機能の集積を図るとともに、地域の歴史文化資源を活かした集客・交流機能の向上に加え、堺らしい趣きの感じられる都市景観を形成することにより、国内外から人が集まり、賑わい、交流できる拠点を目標としている。

課題

○文化財特別公開事業などを通じて、堺市を訪れる観光ビジターは増加傾向にあるが、今後、更なる観光誘客の促進が必要である。
 ○堺環濠都市地区内の景観向上や楽しく周遊するための観光ネットワーク構築とともに、「まち歩き観光」や自転車による周遊を促進するために必要な休憩所などの環境整備が不可欠である。
 ○団体観光客を受け入れることができる観光バスの駐車場不足の解消や堺の歴史文化資源などをわかりやすく紹介し、観光周遊の基点となる施設の整備が課題となっている。

将来ビジョン(中長期)

○平成23年3月、堺市の今後10年間のまちづくりの基本戦略となる「堺市マスタープラン」を策定し、新しいまちを創るための3つの挑戦の1つとして、「歴史文化のまち堺・魅力創造への挑戦」を掲げている。
 ○良好な都市景観の創出や文化・観光の振興を図ることにより、市内外に積極的な情報発信を行い、来訪者を迎え入れる「おもてなし」の環境づくりを進めていく。
 ○古代、中近世、近・現代の歴史文化資源を活用した都市魅力創造し、市民に対しては、「誇り」を感じる「趣き」のあるまちの実現、全国・世界の人々に対しては、「憧れ」を抱く「賑わい」のあるまちの実現を目指す。

目標を定量化する指標

指標	単位		定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
	単	位				基準年度	目標年度
堺観光周遊バスツアーの件数	件	/年	1年間における堺観光周遊バス助成制度の対象件数	堺観光に訪れる観光客の増加を図る。	312件	400件	平成28年度
堺観光ボランティアガイドの件数	件	/年	1年間における堺観光ボランティア協会によるガイド件数	市民と観光客の交流を促進する。	623件	700件	平成28年度
堺おもてなしチケットの販売枚数	枚	/年	1年間における堺おもてなしチケットの販売枚数	阪堺線を利用した観光周遊を促進する。	5,211枚	5,500枚	平成28年度

都市再生整備計画の整備方針等

<p>計画区域の整備方針</p>	<p>方針に合致する主要な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)文化観光拠点施設整備事業(基幹・提案事業) ・大連筋緑化事業【提案事業】 ・阪堺線停留場美化事業【関連事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)文化観光拠点施設整備事業(基幹・提案事業) ・サテエル公園再整備事業、宿院町公園再整備事業【提案事業】 ・大連筋緑化事業【提案事業】 ・堺筋元気な商店街創出事業【提案事業】 ・(仮称)文化観光拠点コミュニティサイクルポート整備事業【関連事業】 ・阪堺線停留場美化事業【関連事業】
<p>整備方針1(都市魅力の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堺の歴史文化の魅力をわかりやすく紹介する施設整備を行う。 ・地区内の公共交通機関である阪堺線の停留場の美装化を支援し、景観の向上を図る。 ・地区内を縦断する主要道路である大連筋を緑化し、景観の向上を図る。 	<p>整備方針2(観光ネットワークの構築)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーク&トレイルにも役立つ総合的な観光情報を提供し、堺観光の基点となる施設整備を行う。 ・自転車による観光周遊を可能とするコミュニティサイクルポートを設置する。 ・地区内の公共交通機関である阪堺線の停留場の美装化を支援し、観光周遊を促進する。 ・歴史資源を有し、「まち歩き観光」のスポット・休憩所となる公園の再整備を行う。 ・地区内を縦断する主要道路である大連筋を緑化し、観光周遊を促進する。 ・歴史文化、伝統産業など地域特性を活かした堺らしい商店街モデルを創出する事業を支援し、観光周遊を促進する。 <p>整備方針3(観光誘客の促進と交流人口の拡大)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光バス駐車場などの整備により、団体観光客の受入れを拡大し、観光誘客を促進する。 ・観光案内や「旅の湯文化」の紹介・体験、与謝野晶子顕彰の全国的拠点となる観光交流センター機能を備えた施設整備を行う。 ・隣接する千利休屋敷跡と一体となった賑わいを創出するため、周辺道路の電線類地中化や歩道設置、舗装の美装化を行う。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○交付期間中の計画の管理について ・事業を円滑に推進するために、庁内関係部局が連携して進捗管理を行う。 ○まちづくりの住民参加 ・平成13年度に観光施策を推進するために、堺市と堺商工会議所・堺ホテル協会・社団法人堺観光コンベンション協会の官民が協同して、「おいでよ堺21実行委員会」を設立している。 ・本実行委員会では、平成19年度より堺環濠都市地区を中心に、市民団体であるNPO法人堺観光ボランティア協会の協力を得て、豊かな歴史文化資源を物語る貴重な文化財を期間限定で公開する「堺文化財特別公開」(H19～H20年度：年1回、H21～H24年度：年2回)を継続的に開催しており、こうした住民参加型のイベント等と連携して、観光振興を通じて、観光振興を通じた賑わいと魅力あるまちづくりを展開していく。 ・また、平成27年3月の開設を目指す(仮称)文化観光拠点の観光案内施設や展示室においても、市民による観光ボランティアガイドの導入を予定している。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費		交付限度額		国費率							
うち、社会資本整備総合交付金対象事業計	2,647.1	うち、社会資本整備総合交付金対象事業計	769.7	0.291							
うち、地域自主戦略交付金対象事業計	0.0	うち、地域自主戦略交付金対象事業計	769.7	0							
基幹事業①社会資本整備総合交付金											
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間 開始年度 終了年度	(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官費負担	うち民費負担	交付対象 事業費
道路											
公園											
河川											
下水道											
駐車場有効利用システム											
地域生活基盤施設	(資料)交付対象施設種別 ※注: 交通圏内(駅)・(商店街)・(公園)・(児童遊園地)・(公園)・(児童遊園地)・(公園)・(児童遊園地)	旧市立昇病院跡地	堺市	直	一	H25 H26	237.6	237.6	183.0	54.6	45.8
高層空間形成施設	(資料)交付対象施設種別 ※注: 交通圏内(駅)・(商店街)・(公園)・(児童遊園地)・(公園)・(児童遊園地)・(公園)・(児童遊園地)	旧市立昇病院跡地	堺市	直	一	H25 H27	188.2	136.8	136.8	0.0	136.8
高次都市施設	(資料)交付対象施設種別 ※注: 交通圏内(駅)・(商店街)・(公園)・(児童遊園地)・(公園)・(児童遊園地)・(公園)・(児童遊園地)	旧市立昇病院跡地	堺市	直	一	H24 H26	1,226.0	1,203.1	1,203.1	0.0	1,203.1
地方都市リノベーション推進施設											
生活拠点施設											
既存建造物活用事業											
土地区画整理事業											
市街地再開発事業											
住宅街区整備事業											
地区再開発事業											
ハリアー環境整備促進事業											
優良建築物等整備事業											
拠点開発型											
住宅市街地											
総合整備											
事業											
街なみ環境整備事業											
住宅地区改良事業等											
都心共同住宅供給事業											
公営住宅等整備											
都市再生住宅等整備											
防災街区整備事業											
合計							1,651.8	1,577.5	1,522.9	54.6	1,385.7
基幹事業②地域自主戦略交付金											
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間 開始年度 終了年度	(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官費負担	うち民費負担	交付対象 事業費
道路											
公園											
河川											
下水道											
合計							0	0	0	0	0
※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載											
※H24以降を記載											
基幹事業 総計(①+②)											
総計							1,577.5	1,522.9	1,522.9	54.6	1,385.7

提案事業①社会資本整備総合交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負相分	うち民負相分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業	(仮称)文化観光拠点施設整備事業	旧市立堺病院跡地	堺市	直	延床1,600㎡	H24	H26	H24	H26	1,011.2	992.3	992.3	0.0	992.3
	サピエル公園再整備事業	サピエル公園	堺市	直	12,000㎡	H26	H28	H27	H28	120.0	120.0	120.0	0.0	120.0
	宿院町公園再整備事業	宿院町公園	堺市	直	2,000㎡	H26	H28	H28	H28	30.0	30.0	30.0	0.0	30.0
	大道筋緑化事業	大道筋	堺市	直	2,800㎡	H26	H28	H27	H28	80.0	80.0	80.0	0.0	80.0
	堺版元気な商店街創出事業	山之口商店街	堺山之口商店街振興組合	間	300㎡	H25	H25	H25	H25	43.2	43.2	39.1	4.1	39.1
事業活用調 査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
まちづくり活 動推進事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計										1,284.4	1,265.5	1,261.4	4.1	1,261.4

提案事業②地域自主戦略交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負相分	うち民負相分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業活用調 査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
まちづくり活 動推進事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計										0	0	0	0	0

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

※H24以降を記載

※H24以降分を記載

提案事業 総計(①+②)

総計										1,284.4	1,265.5	1,261.4	4.1	1,261.4
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---------	---------	---------	-----	---------

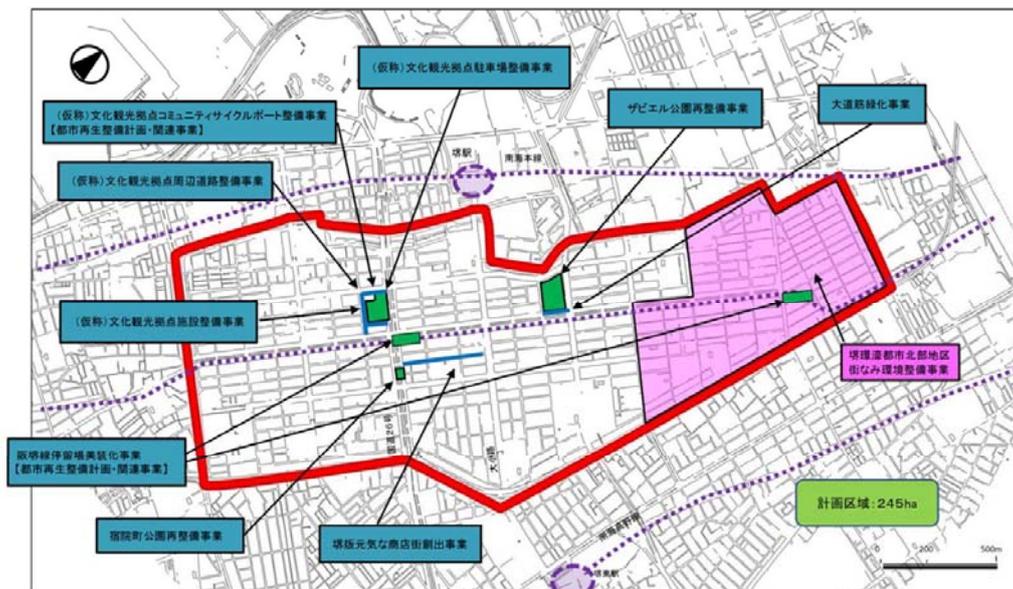
(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)			事業期間		全体事業費
					直轄	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
(仮称)文化観光拠点コミュニティイノベーション整備事業	旧市立堺病院跡地	堺市		—	○		H26	H26	9.5	
阪堺線停留場美装化事業	阪堺線停留場	阪堺電気軌道株		—	○		H26	H27	120.0	
合計									129.5	

計画概要

課題: 本市には、世界文化遺産登録をめざす百舌鳥古墳群のほか、千利休によって大成された「茶の湯文化」、刃物や線香などの伝統産業など長い歴史の中で継承されてきた誇るべき歴史文化資源を数多く有している。しかしながら、これまでこうした歴史文化を市内外の人々に分かりやすく紹介する施設や、これら資源をめぐるためのネットワークなどの面で課題を有しており、本市の歴史文化の魅力を十分に伝えることができていなかった。

目的: 堺環濠都市地区の豊かな歴史・文化資源を活用したまちづくりを推進し、都市魅力を向上させるとともに、交流人口の拡大を通じて、まちの賑わい創出と都市活力の向上を図る。



事業概要 (文化観光拠点施設「さかい利晶の杜」の整備等)

- 千利休屋敷跡に隣接し、与謝野晶子生家跡に近接する場所に、千利休や与謝野晶子を通じて堺の歴史文化の魅力を分かりやすく紹介するとともに、総合的な観光情報を提供することで堺観光の基点となる施設を整備。
- 自転車による観光周遊を促進するコミュニティサイクルポートや大型バス区画を備えた駐車場を併設。
- 周辺道路の無電柱化や石畳舗装等による美装化を行うことで景観を向上。



【整備前】

【整備後】

事業概要

(まちの周遊のための環境整備)

- ・歴史資源を有し、「まち歩き観光」のスポット・休憩所となる公園の再整備を実施。
- ・歴史文化、伝統産業など地域特性を活かした塚らしい商店街モデルを創出する事業を支援し、観光周遊を促進。
- ・江戸時代に形成された町割とともに、町家や寺社等の歴史文化資源を活かし、これらと調和した修景整備を行うことにより、歴史的なまちなみを再生し、魅力向上を図る。



事業効果

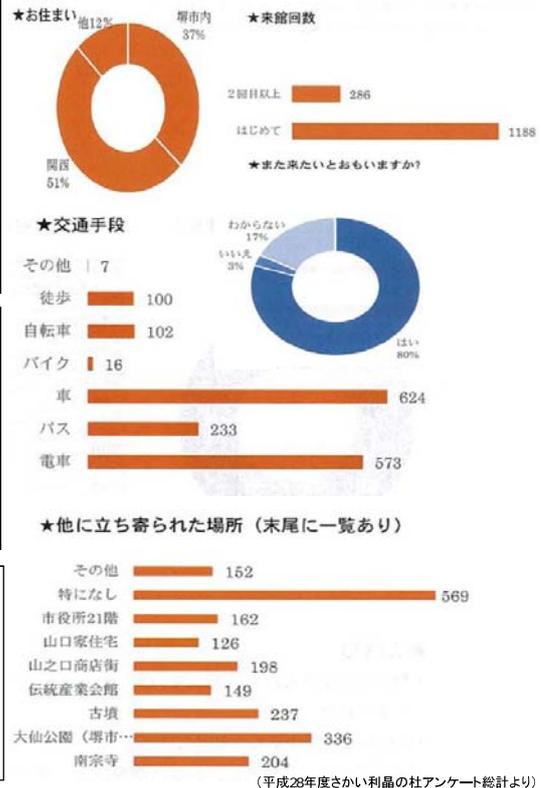
さかい利晶の杜年間延来館者数

当初計画値	150,000～200,000人 (有料率約30%)
H27年度実績	457,022人 (うち有料142,306人)
H28年度実績	331,938人 (うち有料92,914人)

さかい利晶の杜の来館者等による経済波及効果

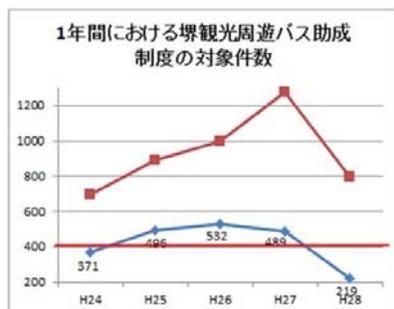
	生産創出	粗付加価値創出
当初想定	約6億円	約3億円
開設から約1年間の推計結果	約26億円	約12億円

- ・市外からだけではなく、約37%が市内からの来訪である。
- ・再来訪希望が約80%となっており、2回目以上のリピーターも一定数確保できている。
- ・さかい利晶の杜だけではなく、地区内の他の施設や古墳への周遊が生じている。
- ・市内外の小中学校団体等による茶の湯体験学習を多数受け入れている。



事業効果(定量的評価)

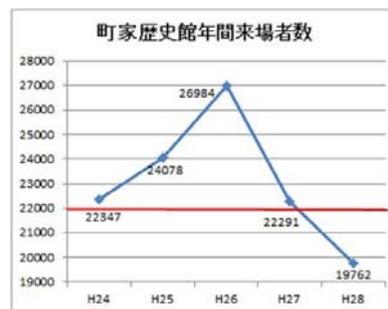
※各グラフの赤横線は目標値ライン



平成28年度実施手法の変更により最終目標値に至っていないが、平成25年度～27年度は最終目標値を上回っており計画期間全体では421件の実績値となった。
(赤折線は助成制度を含めた全体の件数)



さかい利晶の杜のオープンに併せて平成27年3月に堺おもてなしチケットのリニューアルを行った。その効果もあり平成27年度から大幅に販売枚数が増加し最終目標値を上回っている。



平成28年度は堺観光周遊バス助成制度の実施件数減の影響もあり最終目標値に至っていないが、平成25年度～27年度は目標値を上回っており計画期間全体では116%の実績値となった。

事業効果(定性的評価)

・平成27年3月にオープンした文化観光拠点施設「さかい利晶の杜」には、平成27年度来館者数457,022人(うち有料来館者数142,306人)、平成28年度来館者数331,938人(うち有料来館者数92,914人)の来館があり、本市の有する歴史・文化の魅力の発信や交流人口の拡大を通じたまちの賑わいの創出に寄与している。

・さかい利晶の杜のアンケートでは、来館者の37%が堺市内からの来訪者であり、千利休茶の湯館や与謝野晶子記念館の展示、茶の湯体験などを通じて市民が改めて本市の特色ある歴史・文化に触れる機会を創出することでシビック・プライドの醸成に寄与している。

・堺のことをよく知る市民により組織されている「堺観光ボランティア協会」による観光ガイドを行っており、来訪者に対して市の歴史・文化を市民が発信する体制が整っている。

・本計画の実施により無電柱化や周辺道路の整備、地区内の主要道路である大道筋の緑化、まち歩き観光のスポット・休憩所となる公園の再整備、近隣商店街のファサード整備、北部地区における歴史的な街なみの修景により景観向上と都市魅力の向上に寄与している。

まちの課題の変化・今後のまちづくりの方策・市の評価

<p>まちの課題の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本市の特色ある歴史・文化資源などを分かりやすく紹介し観光周遊の基点となる施設の整備が課題となっていたが、「さかい利晶の杜」の整備により、千利休・与謝野晶子という堺を代表する偉人を通じて歴史・文化の魅力を発信するとともに観光案内機能やコミュニティサイクルポートも備えた文化観光拠点が形成された。 地区内の景観向上や楽しく周遊するための観光ネットワークの構築とともに、まち歩き観光や自転車による観光を促進するための休憩所などの整備が課題となっていたが、本計画の実施によりそれらが整備され、今後の周遊促進のための環境整備ができた。
<p>今後のまちづくりの方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本計画において整備された文化観光拠点「さかい利晶の杜」において、常設展示だけではなく様々な企画展や魅力あるイベントを実施することで、千利休・茶の湯文化や与謝野晶子・文学をはじめとした本市がもつ特色ある歴史・文化の魅力を市内外に広く発信していくことで、賑わいの創出、都市魅力の向上、シビック・プライドの醸成を図っていく。 北部地区における歴史的なまちなみの再生など地区内の資源の魅力の向上やネットワーク化を図り、まちの周遊を楽しめる環境整備を図っていく。
<p>市の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定量的評価として、本市を周遊観光するバスツアー件数の増加、おもてなしチケットの販売枚数の増加、町家歴史館の来場者数の増加により、交流人口の増加と周遊観光の促進という計画の目的に沿った効果が生じており、計画の目標は達成できていると考えている。 定性的評価として、市内外へ本市の歴史・文化の魅力を発信やシビック・プライドの醸成に寄与できていると考えている。 今後も「さかい利晶の杜」を市外からの来訪者・市民に親しまれる施設として運営するとともに、地区内の資源の魅力向上やネットワーク化を図ることでまちの周遊を楽しめる環境整備を図っていく。

事後評価個票（その1）

事業名		都市再生整備計画事業 堺東駅周辺地区	
事業箇所		堺区南瓦町 他 34ha	
事後評価理由		今年度交付期間が終了するため	
事業概要	目的	堺市の玄関口の魅力向上と賑わいの創出のため、さまざまな目的をもって行きかう人で賑わうまちをめざし、市民や来訪者が、安全に楽しく回遊できる市街地空間を形成し、また、本市への来訪者を迎える地区として、堺の都市イメージを向上させるような魅力あるまちの顔づくりを図る。	
	内容	【基幹事業】市民交流広場整備事業 【提案事業】市民交流広場活用事業	
	上位計画	堺市マスタープラン「さかい未来・夢コンパス」(平成23年2月策定) 堺市都市計画マスタープラン(平成24年12月策定) 堺 都心のまちづくりプラン(平成24年7月策定) さかい 魅力・安心住まいプラン(平成23年11月策定)	
	関連事業	堺東駅南地区市街地再開発事業 堺保健センター・市民駐車場整備事業 市民会館建替え事業 翁橋公園整備事業 アクセスルート整備事業 堺市都心まちづくり活動支援事業	
事業コスト	項目	計画時の想定	見込み(平成29年度末)
	事業コスト	事業費総額 764百万円	事業費総額 782百万円
	時間コスト	計画期間 5年 事業採択年度 H26年度 事業着手年度 H26年度 事業終了年度 H30年度	計画期間 4年 事業採択年度 H26年度 事業着手年度 H26年度 事業終了年度 H29年度

事後評価個票（その2）

事業を巡る社会経済情勢の変化	事業目的に関する諸状況	<p>・本地区は本市の玄関口としての役割を担う地域であるが、かつての賑わいと活力が失われ、市内における相対的な地位が低下している。地区内においては大型店の撤退、空き店舗の増加が進み、商店数・販売額などの指標が減少傾向にある。さらに、駅乗降客数や歩行者通行量も減少が続くなど、市街地の空洞化が著しく、これを再生し活性化を図ることが緊急の課題である。</p>		
	地域の状況	<p>・本地区は、市役所や法務局・裁判所などの公共・公益施設や、百貨店や商店街などの商業施設、銀行などの業務施設が集積し、市内各地や大阪市方面と接続する鉄道・バスの拠点となる堺東駅が位置する、本市の玄関口であるが、近年の社会経済情勢の変化により空洞化が著しく、商業機能が低下し、来街者も減少するなど、かつての活力が失われている状況にある。</p>		
事業効果の定量的評価	目標を定量化する指標	指標	堺東駅周辺の歩行者通行量 (人/休日8時間)	市民交流広場の使用率 (%)
		従前値	1485	28
		目標値	2200	44
		評価値	1916	66
		効果発現要因	<p>市民交流広場の完成により通行量が一定増加した。広場内のイベント実施等により賑わいが生まれ交流人口が増加した。 ただし、関連事業の遅れにより、目標値には達しなかった。</p>	<p>市民交流広場の合同庁舎前の完成、市役所前の完成により広くイベントが開催され利用が促進されたことにより、市民交流広場の使用率が上昇した。</p>
事業効果の定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民交流広場条例を策定し、広く自由に広場を使用できるようにしたことにより、定期的に各団体によるイベントが開催されるようになった。 ・市民交流広場活用事業による試験的なイベント実施、有識者や市民委員を交えた懇話会の実施により、憩いや賑わいの空間として利用しやすい広場の整備が進んだ。 ・堺の都市イメージを向上させるようなまちの顔づくりが図られた。 			

事後評価個票（その3）

<p>まちの課題の 変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広場内における多様なイベントの実施等により平日も含めての賑わいが創出されている。 ・ 広場のイベントに合わせて周辺でのイベントが開催されるなど、回遊性も生まれている。
<p>今後のまちづ くりの方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、各団体が自立的に活動できるような支援を行う。 ・ 未整備部分については、引き続き地元協議・整備検討を続け、回遊できる市街地空間形成を進めていく。
<p>フォローアッ プ計画</p>	<p>指標の評価値は、現在実施中の関連事業もあることから未達成の項目もあるが、今後社会資本整備計画の期間が終了する平成 32 年度に事後評価を行い、公表する予定</p>
<p>住民の意見</p>	<p>平成 29 年 12 月 7 日（木）から平成 29 年 12 月 21 日（木）まで、市のホームページ及び担当課で事後評価原案を公表し、意見募集を行った。公表の結果、住民からの意見はなかった。</p>
<p>市の評価</p>	<p>事後評価手続きは妥当であると考えている。指標の目標値は他の事業の遅れと関連施設の閉鎖の影響を除くと一定達成していることから、本地区の目標であるまちの活性化に寄与したものであると考えている。今後のまちづくりの方策についても妥当であると考えている。</p> <p>※なお、堺東駅周辺の歩行者交通量については、関連事業である堺東駅南地区市街地再開発事業やフェニーチェ堺の工事が完了する平成 33 年度にフォローアップを行う予定である。（※意見具申を受けて追記）</p>



市役所前市民交流広場



堺地方合同庁舎前市民交流広場
(市民交流広場活用事業での試験的なイベント)

都市再生整備計画事業 堺東駅周辺地区 事業スケジュール

事業名	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
基幹事業	市民交流広場整備事業	合同庁舎前 用地取得			
		合同庁舎前 実施設計	市役所前 実施設計	市役所前 整備工事	
提案事業	市民交流広場活用事業				
			合同庁舎前 整備工事		
			市民交流広場活用事業		

都市再生整備計画 事後評価シート(案)
堺東駅周辺地区

平成29年12月

大阪府堺市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	堺市	地区名	堺東駅周辺地区	面積	34						
交付期間	平成26年～29年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	782	国費率	0.4						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	市民交流広場整備事業(地域生活基盤施設 広場)、プロムナード整備事業(高質空間形成施設)	事業名	市民交流広場整備事業(地域生活基盤施設 広場)、プロムナード整備事業(高質空間形成施設)	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	なし						
	提案事業	基幹事業	プロムナード整備事業(高質空間形成施設)	事業名	プロムナード整備事業(高質空間形成施設)	削除/追加に伴い、交付対象事業期間外となることによる削除	なし						
	当初計画から削除した事業	提案事業	-	事業名	-	-	-						
	新たに追加した事業	基幹事業	-	事業名	-	-	-						
	提案事業	基幹事業	市民交流広場活用事業	事業名	市民交流広場活用事業	整備と合わせた継続的な賑わいの創出のための事業追加	なし						
	交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度	事業名	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	なし	なし						
	変更	変更	平成26年度～平成29年度	事業名	なし	なし	なし						
	指標	指標	従前値	目標値	数値	達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
	指標1	堺東駅周辺の歩行者交通量	人/日	1,485	H 24	2,200	H 29	1,916	△	あり	あり	市民交流広場のイベントにより通行量が増加したものの、関連事業の未完成により目標値には達しなかった	平成33年7月
	指標2	市民交流広場の利用率	%	28%	H 24	44%	H 29	66%	○	あり	あり	条例制定・広場の整備により広くイベントが開催され利用が促進されたことにより利用率が向上した	-
指標3									なし	なし			
指標4									あり	あり			
指標5									なし	なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
	効果発現状況												
4) 定性的な効果発現状況	市民交流広場活用事業による試験的なイベント実施、有識者や市民委員を交えた検討会の実施により、憩いや賑わいの空間として利用しやすい広場の整備が進んだ。												
	堺の都市イメージを向上させるようまちなまの顔づくりが図られた。												
5) 実施過程の評価	モニタリング												
	住民参加プロセス												
	持続的なまちづくり体制の構築												
		実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
		-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					

様式2-2 地区の概要

堺東駅周辺地区(大阪府堺市) 都市再生整備計画事業の成果概要

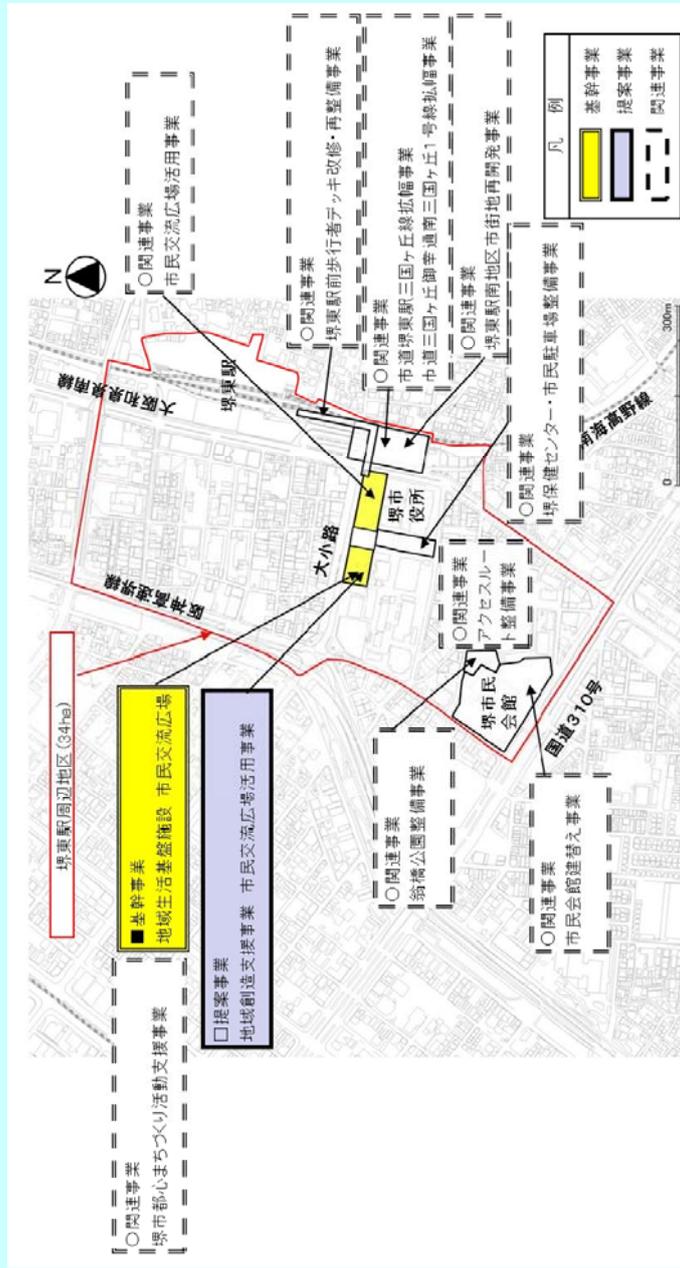
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値		
大目標:堺市の玄関口の魅力向上と賑わいの創出 目標1:さまざまな目的をもつて行きかう人で賑わうまちをめざし、市民や来訪者が、安全に楽しく回遊できる市街地空間を形成する。 目標2:本市への来訪者を迎える地区として、堺の都市イメージを向上させるような魅力あるまちの顔づくりを図る。		堺東駅周辺の歩行者交通量	単位:人/日	1,485	H 24	2,200	H 29	1,916	H29	
		市民交流広場の利用率	単位:%	28%	H 24	44%	H 29	66%	H29	
			単位:		H		H		H	H
			単位:		H		H		H	H



市役所前市民交流広場



堺地方合同庁舎前市民交流広場
(市民交流広場活用事業実施)



- 堺地方合同庁舎前市民交流広場
- 市民交流広場活用事業実施
- 広場における多様なイベントの実施等により平日も含めて賑わいが創出されている。
- 広場のイベントに合わせて周辺でのイベントが開催されるなど、回遊性も生まれている。

- 引き続き、各団体が自立的に活動できるような支援を行う。
- 広場については、引き続き地元協議・整備検討を続け、回遊できる市街地空間形成を進めていく。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

都市再生整備計画

堺東駅周辺地区

大阪府 堺市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	堺市	地区名	堺東駅周辺地区	面積	34 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 29 年度				

目標

大目標：堺市の玄関口の魅力向上と賑わいの創出

- 目標1:さまざまな目的をもって行きかう人で賑わうまちをめざし、市民や来訪者が、安全に楽しく回遊できる市街地空間を形成する。
- 目標2:本市への来訪者を迎える地区として、堺の都市イメージを向上させるような魅力あるまちの顔づくりを図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現状

- ・本地区は、市役所や法務局・裁判所などの公共・公益施設や、百貨店や商店街などの商業施設、銀行などの業務施設が集積し、市内各地や大阪市方面と接続する鉄道・バスの拠点となる堺東駅が位置する、本市の玄関口であるが、近年の社会経済情勢の変化により空洞化が著しく、商業機能が低下し、来街者も減少するなど、かつての活力が失われている状況にある。
- ・本市においては、本地区を含む都心地域のまちづくりの指針となる「堺 都心のまちづくりプラン」を平成24年7月に策定し、「人が集い、賑わいと活力のあふれる都心」をまちづくりの目標として、堺の新しい都市魅力を創造する都心のまちづくりに取り組んでいる。また、平成27年3月27日に、本地区を含む区域を対象として堺市中心市街地活性化基本計画の認定を取得した。
- ・本地区の周辺には、中世の環濠都市の面影を残す旧市街地地域や、世界文化遺産登録をめざす百舌鳥古墳群などが位置しており、本地区はこれらの地域を訪れる人々を迎える地区でもある。

課題

- ・本地区は本市の玄関口としての役割を担う地域であるが、かつての賑わいと活力が失われ、市内における相対的な地位が低下している。地区内においては大型店の撤退、空き店舗の増加が進み、商店数・販売額などの指標が減少傾向にある。さらに、駅乗降客数や歩行者通行量も減少が続くなど、市街地の空洞化が著しく、これを再生し活性化を図ることが緊急の課題である。

将来ビジョン(中長期)

- 堺市マスタープラン「さかい未来・夢コンパス」(平成23年3月策定)
 - 【都心地域のまちづくりの方向性】
 - ・堺東駅周辺地域：広域的な都市圏の中核を担う政令指定都市・堺の玄関口として、商業・業務・行政・文化・居住機能を集積・強化させるとともに、駅前等の利便性を向上させます。
- 堺市都市計画マスタープラン(平成24年12月策定)
 - 【都心の活性化と魅力づくり】
 - ・堺東駅周辺地域では、商業・業務・行政・文化・居住機能等の集積を図り、政令指定都市・堺の玄関口にふさわしい魅力と風格あるまちづくりを進めます。
 - ・堺東駅周辺の行政機能の集積地については、官公庁の一体的な整備促進にあわせ、賑わいと憩いの空間や良好な景観の創出を図ります。
- 堺 都心のまちづくりプラン(平成24年7月策定)
 - 【まちの将来イメージ】
 - ・堺東駅周辺地域：堺を代表する賑わいと風格のあるまち(平成23年11月策定)
 - さかい魅力・安心住まいプラン(平成23年11月策定)
 - 【まちなか居住促進戦略】
 - ・都心においては、地域特性を活かして、商業や文化機能などの集積をはかるとともに、交通結節機能の向上などにより、都市機能が集積した利便性の高い居住環境の構築をはかります。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値	
			従前値	基準年度	目標年度	
堺東駅周辺の歩行者通行量	人/日	堺東駅周辺2地点の歩行者通行量の平均(休日8時間)	1,485人/日	平成24年	2,200人/日	平成29年
市民交流広場の使用率	%	市民交流広場の年間使用率 (従前値は市役所前市民広場における値)	28%	平成24年	44%	平成29年

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	
<p>整備方針1(安全に楽しく回遊できる市街地空間の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民会館へのアクセスルートとなるプロムナードや、堺東駅と再開発ビル及び行政ゾーンを接続する堺東駅前歩行者デッキなど、歩行者が安全で快適に通行できる空間を確保する。あわせて、市民交流広場・堺東駅前歩行者空間などの交流空間を整備し、地区の回遊性の向上を図る。 	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p>地域生活基盤施設(市民交流広場)(基幹事業)、高質空間形成施設(プロムナード)(基幹事業)、堺東駅南地区市街地再開発事業(関連事業)、堺東駅前歩行者デッキ改修・再整備事業(関連事業)、市道堺東駅三国ヶ丘線拡幅事業、翁橋公園整備事業(関連事業)、アークセスルート整備事業(関連事業)</p>
<p>整備方針2(都市イメージを向上させるまちの顔づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 堺東駅周辺における賑わいの空間を創出するため、イベントや文化・情報の発信などと連携してさまざまな活動の場となる市民交流広場を中心に、堺東駅前歩行者空間などを整備する。 堺東駅前広場に面する堺東駅南地区市街地再開発事業の実施、市役所本庁舎・合同庁舎・裁判所など一帯となってランドマークを形成する市民交流広場の整備などにより、都心の駅前にふさわしいまちなみを形成する。 	<p>地域生活基盤施設(市民交流広場)(基幹事業)、市民交流広場活用事業(提案事業)、堺東駅南地区市街地再開発事業(関連事業)、市道堺東駅三国ヶ丘線拡幅事業、堺保健センター・市民駐車場整備事業(関連事業)、市民会館建替え事業(関連事業)、堺市都心まちづくり活動支援事業(関連事業)、市民交流広場活用事業(関連事業)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中心市街地活性化に向けた地域の取組み <p>中心市街地活性化協議会が設置され、平成27年3月27日に本地区を含む区域を対象として、中心市街地活性化基本計画を策定し、認定を取得した。また、協議会が主体となって地域の活性化に向けた取組みを実施しており、こうした活動への支援等を通じて、継続的な賑わいの創出に努める。</p>	

都市再生整備計画の区域

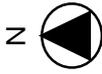
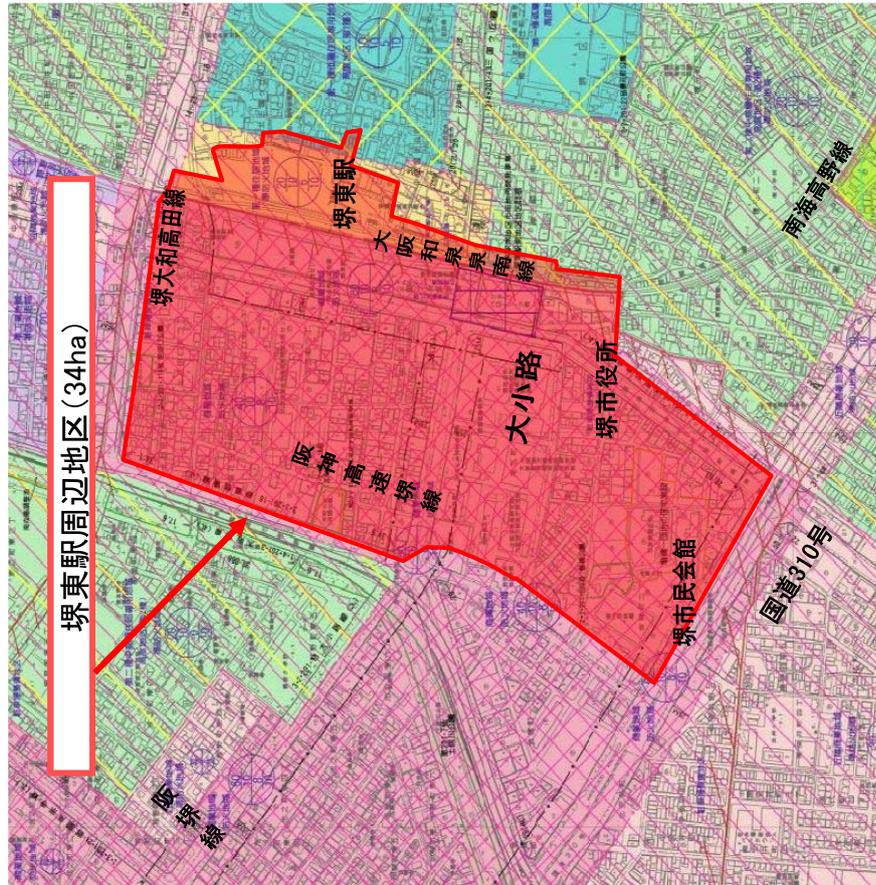
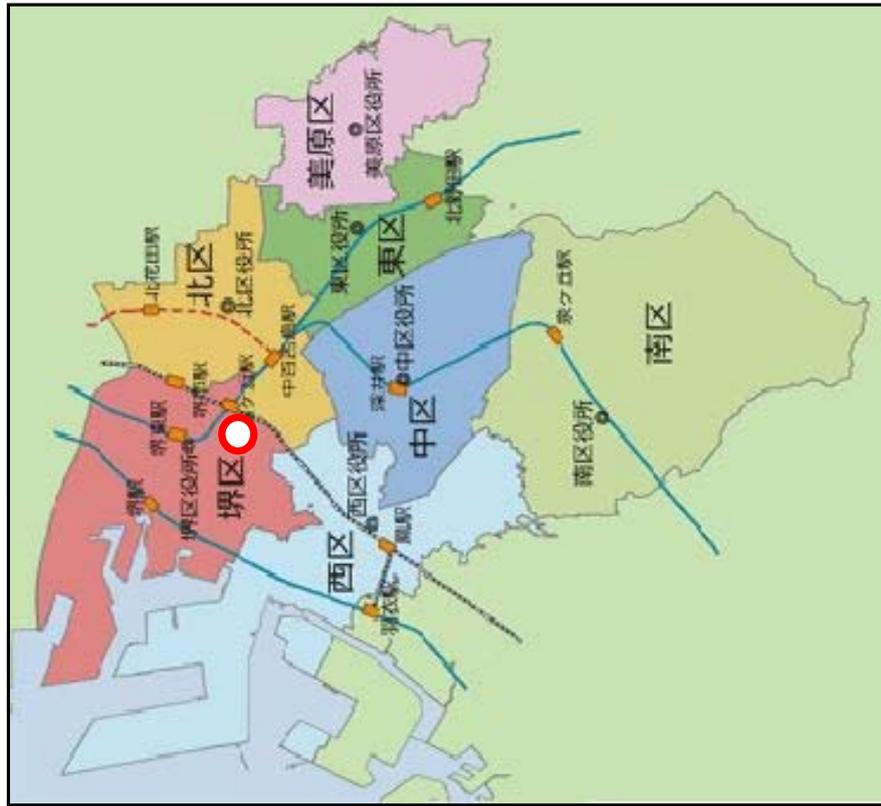
堺東駅周辺地区(大阪府堺市)

面積

34 ha

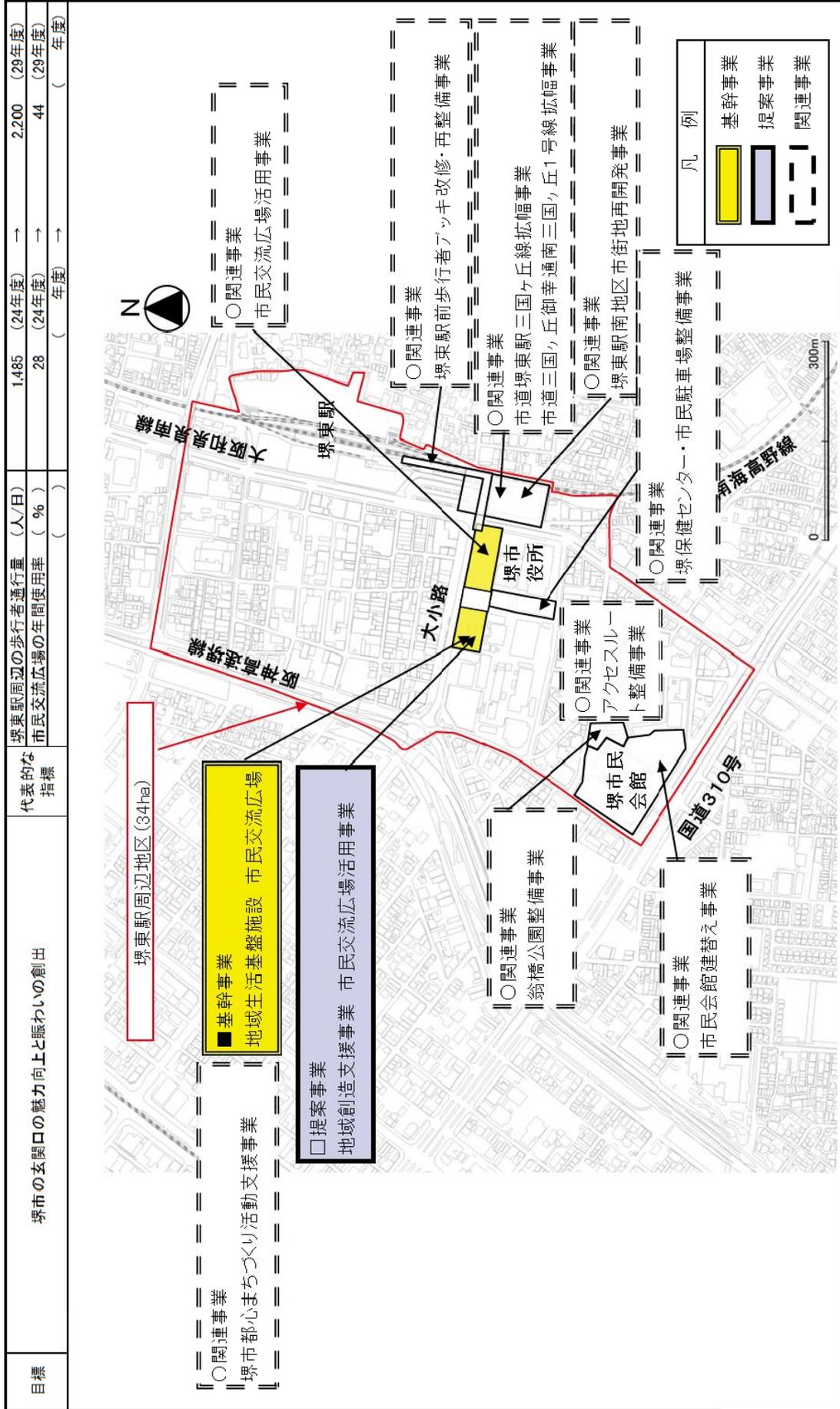
区域
堺市堺区 翁橋町2丁、北瓦町1～2丁、北花田口町1～3丁、新町、中瓦町1～2丁、三国ヶ丘御幸通、南花田口町1～2丁の全部と一条通、南瓦町の一部

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



0 500m

堺東駅周辺地区(大阪府堺市) 整備方針概要図



都市再生整備計画事業 堺東駅周辺地区 事後評価

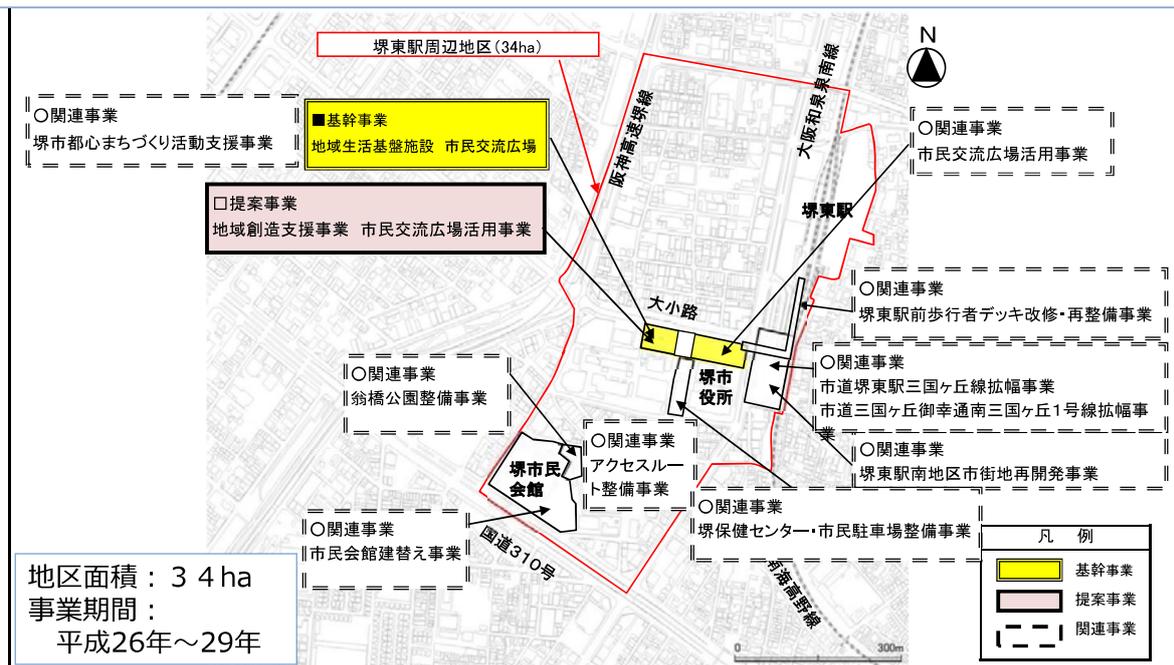
堺市公共事業評価監視委員会

堺市建築都市局都市再生部
都心まちづくり課

概要（都市再生整備計画事業 堺東駅周辺地区）

目的

- ・堺市の玄関口の魅力向上と賑わいの創出のため、さまざまな目的をもって行きかう人で 賑わうまちをめざし、市民や来訪者が、安全に楽しく回遊できる市街地空間を形成
- ・本市への来訪者を迎える地区として、堺の都市イメージを向上させるような魅力あるまちの顔づくりを図る



市民交流広場整備事業

「まちの賑わいを創出する交流の場、市民が親しみをもてる憩いの場」
として市民交流広場を整備



堺市役所前	幅約108m×奥行最大35m、面積約3,400㎡ ※大きな屋根付きのステージとしても利用可能なスペースあり
堺地方合同庁舎前	幅約66m×奥行最大25m、面積約1,700㎡

<事業スケジュール>

- H27年5月：堺地方合同庁舎前広場オープン
- H29年9月：堺市役所前広場リニューアルオープン

市民交流広場整備事業

堺市市民交流広場の愛称を決定：**Minaさかい**



堺市役所前広場

堺地方合同庁舎前広場

堺市役所前広場



Minaさかい（堺市市民交流広場）イメージ図
（市役所前広場第1工区完成時）



堺地方合同庁舎前広場
（市民交流広場活用事業での
試験的なイベント）

市民交流広場活用事業（提案事業・関連事業）

H27.7.18 堺 広場夢 7.18

広場でどんなことをしたいか、ワークショップをしました。



平成27年7月、いろいろな方にご利用いただける賑わいと憩いの場をめざして、堺市市民交流広場が誕生しました。楽しい風景やちょっと変わった風景で、広場は少しでも堺東の景色を変えてきました。



H28.9.24 またきてヒロバ！秋の1dayカーニバル
市役所前広場をキャンバスに、いちど限りの大ラクガキ大会を開催しました。堺にゆかりのある新進グラフィックデザイナーをリーダーに、318名の方が、堺と広場の未来をテーマにラクガキしました。

H27.8.29 堺 広場祭 8.29

広場にゴーヤのアーチが登場。水遊びに音楽に堺の食やマルシェ。夏休み最後の週末を、たくさんの方が楽しみました。



H28.3.20-27 LINKSQUARE 2016

広場を出会いの場として、さまざまな活動をしている堺の人々がつながろう、という市民有志の会「つくるさ会」が企画する催しが、76団体を迎え8日間にわたり開催されました。

H28.2.21 広場に雪がやってくる

なんと、市役所前の広場に降雪車が、おぜんざいのふるまいや、焚火で焼きバン体験。寒い季節の楽しみを満喫しました。



H28.4.30-5.1 堺ブルースフェスティバル H28.5.4-5 MIKROCK'16

堺に有カアーティストが集まる音楽フェスが今年も開催されました。堺から全国に、世界に羽ばたくミュージシャンに多くのファンが集まりました。



平成27年度 約150件
平成28年度 約270件
平成29年度 11月末で209件の広場利用

事業効果



堺東夏まつり



堺ブルースフェスティバル

■ 利用の推移

平成27年度 150件
平成28年度 270件
平成29年度11月末 209件

事業効果の定量的評価	目標を定量化する指標	指標	堺東駅周辺の歩行者通行量 (人/休日8時間)	市民交流広場の使用率 (%)
		従前値 (H24)	1,485	28
		目標値	2,200	44
		評価値	1,916 (10/8)	66
		効果発現要因	・市民交流広場のイベントにより通行量が一定増加 ・ただし、関連事業の遅れにより目標値には達しなかった。	条例制定・広場の整備により広くイベントが開催され利用が促進されたことにより、使用率が向上
事業効果の定性的評価			・市民交流広場活用事業による試験的なイベント実施、有識者や市民委員を交えた懇話会の実施により、憩いや賑わいの空間として利用しやすい広場の整備が進んだ。 ・堺の都市イメージを向上させるようなまちの顔づくりが図られた。	

まちの課題の変化・今後のまちづくり方策・市の評価



リンクスクエア2017（堺の伝統体験広場）



中心市街地の冬の新たな風物詩
堺桜彩イルミネーション

まちの課題 の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・広場内における多様なイベントの実施等により平日も含めての賑わいが創出されている。 ・広場のイベントに合わせて周辺でのイベントが開催されるなど、回遊性も生まれている。
今後のまちづくり の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各団体が自立的に活動できるような支援を行う。 ・未整備部分については、引き続き地元協議・整備検討を続け、回遊できる市街地空間形成を進めていく。
フォローアップ 計画	指標の評価値は、現在実施中の関連事業もあることから見込みであるが、今後社会資本整備計画の期間が終了する平成32年度に事後評価を行い、公表する予定
住民の意見	平成29年12月7日（木）から平成29年12月21日（木）まで、市のホームページ及び担当課で事後評価原案を公表し、意見募集を行った。公表の結果、住民からの意見はなかった。
市の評価	事後評価手続きは妥当であると考えている。指標の目標値は他の関連事業の遅れを除くと一定達成していることから、本地区の目標であるまちの活性化に寄与したものであると考えている。今後のまちづくりの方策についても妥当であると考えている。